JIA 国際交流活動支部事業報告書
＜JIA 沖縄支部国際交流事業 2023＞
台湾（台中・台南・高雄）

2024/03/21

沖縄支部

JIA 国際交流活動報告書

■事業名：　JIA 沖縄支部国際交流事業 2023

■主催者：　公益社団法人日本建築家協会沖縄支部

■協賛・後援：

■事業概要：　当支部は、2012 年度より、会員、特に若手会員の東南アジア進出を促進する環境作りに力を注ぎ、本事業はその根幹となる継続事業です。2020 年度に予定していたタイ研修が新型コロナの影響で中止となりましたが、今年度はその再開として、那覇から九州までの距離にある外国、台湾への視察を計画しました。このプログラムを通じて、若手建築家は海外建築家と交流する機会を得るとともに、当支部全体のアジアに対する意識が拡大しています。国際化を促進すべく、当支部発行の機関紙「かぬち」では、英語併記を行うなどの取り組みを通じて、予算を充てて海外のクライアントや研修生にも対応可能な状況を整えています。この事業を通じて、支部はアジア市場への積極的な展開と国際的なネットワーク構築に注力しています。

■事業の目的：　琉球王国時代より交流の深かった台湾は、地理的にも文化的にも近く、よく似た気候風土をしています。蒸暑気候での建築手法や台風災害による対策について、現地建築家と意見交換、現地調査・視察をすることで、沖縄の気候風土に適した建築の技術向上を目的としています。

　また、台湾との建築プロセスの違いに焦点を当て、現地の設計事務所での視察・レクチャーを通じて、両者の設計における差異を理解し、相互の視点を得ることも事業の目的となっています。この交流を通じて、持続可能で地域特有の建築技術の発展を促進し、文化的な連携を深めることが期待されます。

■実施場所：　台湾（台中・台南・高雄）

■参加者　：　沖縄支部９名

東北支部１名

四国支部１名

その他（非会員）６名

■実施期間：　2024.2.21～2024.2.25

■日　　程：

２月２１日　　那覇空港出発台北へ、高速鉄道にて台中へ移動、台中国家歌劇院見学（設計伊東豊雄）、宮原眼科見学（リノベーション）

２月２２日　　開務建築訪問レクチャー、台中市建築師公会訪問・意見交換、台中市建築師公会と昼食会、SANAA 設計監理・建設中の台中緑美園（美術館図書館）見

学・台中市政府　建設局（陳大田　建設局長）と意見交換、GLA（Green Lab Asia）一周年記念パーティー参加

２月２３日　百祐オフィス（GLA）見学・レクチャー(設計 SUEP.＆RHTAA)・昼食、国立高雄芸術センター見学(設計メカノー）、中都濕地公園ビジターセンター見学（現地建築家葉氏によるレクチャー）、ポップミュージックセンター（設計マヌエル・A・モンテセリン・ラホス）及び周辺散策、高雄 KMRT 中央公園駅ｴﾝﾄﾗﾝｽ見学（設計リチャード・ロジャース）

２月２４日　成功大学緑色魔法学校見学（建物概要レクチャー）、台南市美術館２館見学（設計坂茂）同１館（旧台南警察署）など周辺散策、高速鉄道にて台北へ移動、台北パフォーミングアーツセンター（設計レム・コールハース）

２月２５日　桃園空港出発那覇へ

■まとめ　：

事業企画書で示した蒸暑地域における環境負荷の少ない建築に関する新たな視点や手法、および台湾の設計手法に関する目標に対し、研修を通じて有益な成果が得られました。

まず、蒸暑地域における環境負荷の少ない建築に関しては、百祐オフィス（GLA）および成功大学緑色魔法学校での設計者や案内役のレクチャーが特に成果的でした。中都濕地公園ビジターセンターの事例では、水辺にもかかわらず木質部が１３年の経年でも健全であり、沖縄での木質構造の参考となる事実が明らかになりました。また、ZEB の百祐オフィス（GLA）ではマンゴーの巨木との共生が詳細に説明され、環境建築へのアプローチに新たな理解を得ることができました。

台湾の設計手法に関しては、SANAA 設計建築中の台中緑美園（美術館図書館）の現場見学が重要な役割を果たしました。公共建築の現場状況を確認することで、台湾での設計活動におけるイメージが具体的になりました。また、台中や高雄での歓迎から、沖縄と台湾との協同の可能性を感じ、交流先との連携の重要性を認識しました。

この研修を通じて、気候風土に根ざした建築に関する知識や経験を豊かにしました。しかし、今後の課題としては、交流先との継続的な連携が不可欠であるため、沖縄側の体制整備が急務と考えています。研修の成果を持続的かつ具体的な形で活かし、地域ごとの建築の発展に貢献していくことが今後の重要な課題となります。

■台中市建築師公会交流・意見交換レポート

・日時：２月２２日 11 時～13 時 30 分

・場所：台中市建築師公会及びレストランにて

・参加者：江支川、林亦奇、林敬樺、劉文傑、陳世達、商暉鴻、張尚文、王銘聰、王銘顯、龔瑞琦(副理事長) 、虞承宗(理事長)、JIA 台湾研修参加者

台中市建築師公会　副理事長の龔さんと JIA 沖縄支部の金城優副支部長の挨拶から会を始め、台中建築士公会理事の紹介、両者の記念品贈呈を行いました。事前に双方の質疑を交換しており、沖縄支部からは主に気候風土に根差した建築や、省エネルギーへの取り組みについての質疑を挙げ、台中建築師公会からは組織や条例、木質造などについての質疑がありました。

当日の意見交換では、沖縄支部から気候風土に対する建築の概要についてプレゼンテーションを行った上で交互に質問を投げかけましたが、時間の都合上、会議室では収まらず、会食の場と今後メールでのやり取りへと続くことになりました。

■台中緑美園の建設現場見学・台中市政府建設局意見交換レポート

研修 2 日目の午後は SANAA 設計の台中緑美園の建設現場を見学する機会を得ました。当建築は SANAA が 2013 年にコンペで勝ち取った、広大な台中市中央公園の一角に計画された図書館と美術館を中心とした複合文化施設です。延べ面積が約 6 万平米と大規模ながら、全体が大小 8 つの柔らかなキューブ状のボリュームに分節されているため不思議と圧迫感は感じられませんでした。また日射遮蔽効果も期待できるアルミエキスパンドメタルの外皮が SANAA 建築特有の軽やかなオーラを建物に纏わせていたのが印象的でした。

見学に先立って現場事務所にて台中市政府建設局の陳大田建築局長を代表とする台中市当局の手厚い歓待を受けました。現場見学では SANAA スタッフのアミラさんと通訳のアンディさんによる丁寧な説明を受けながら、まるで外部のような明るくて気積の大きな展示空間を体験することができました。台湾のおおらかな空気感をそのまま建築化したような内部空間のつくり方は沖縄での設計手法としても参考になるのではないかと感じました。

建物が竣工し施設が開館した折にはぜひ支部で台湾研修第 2 弾を企画して再訪したいです。

■高雄百佑オフィスにて建築家、クライアントと交流・意見交換・会食レポート

・日時：2 月 23 日 10:00～12:45

・場所：高雄百佑オフィス

・参加者：末光弘和(SUEP.)、曽瑞宏(RHTA)、洪光谷(百佑営造有限公司)、JIA 台湾研修参加者

百佑オフィスは設計者の一人である建築家の末光氏に仲介していただき訪問が実現しました。現地では、設計者である末光氏、曽瑞宏氏よりレクチャーを踏まえ建物を案内いただき、高雄・沖縄での環境負荷の少ない建築、Green Lab Aisa(GLA)の活動について意見を交換しました。その後会食にて交流を深めました。

樹齢百年のマンゴーの大樹と寄り添うランドスケープのような建築は、マンゴーの大樹の詳細な観測データを基に設計されており、台湾であまり例のない ZEB を達成しており「心地よい連続する日陰の空間」が実現されていました。

とても開放的な建築で、内外を抜ける風の心地よさを体感できた半面、地理的に台風の影響が気になったが、高雄東側の山脈で軽減されるため高雄自体の台風被害はそこまで大きくないと曽瑞宏氏より説明がありました。

自然と共生する建築を徹底的な環境の観測、アルゴリズムをベースに設計する姿勢は沖縄のような蒸暑地域で環境負荷が少ない建築の有効な設計手法の一つであると、建築を体感することでより理解を深めることができました。今後は報告会をもち、若手を含む多くの建築家と共有していくことで、今後の文化的な交流はもちろん実務レベルで共同する際にも一助になればと思っています。

基本的に中国語と台湾語がメインのため一部の英語が堪能な方を除き通訳は必要で、今回も設計者でもある通訳の方を通すことでスムーズな交流ができました。

■成功大学緑色魔法学校にて鈴木誠眞氏とレクチャー・意見交換

・日時：2 月 24 日 10:00～11:45

・場所：台南　成功大学緑色魔法学校

・参加者：鈴木誠眞(台湾淀川製鋼所の元社長)、JIA 台湾研修参加者

成功大学緑色魔法学校は、2011 年に落成した台湾初の ZEB 建築としてだけでなく、エミッション ZEB を達成しており、蒸暑地域において環境負荷を低減する設計手法が多く採用された建築です。今回は緑色魔法学校のボランティアガイドとして、台湾淀川製鋼所の元社長である鈴木さんに案内いただけることになり、当日はレクチャーの後建築内外をまわり、落成から 10 年以上経過した環境建築の変化について学ばせていただきました。

CDF シミュレーションと風洞実験をもとに窯式通風で設計されたメインホールを楽しみにしていましたが当日は空調が使用されており実体験できず残念でした。鈴木さんによると状況により使い分けしているとのお話でした。落成から 10 年以上経過していることもあり、屋上の貯水槽式緑化ユニットが鉢物に置き換えられていたりと実情に合わせた変更が見られたこと、環境建築を管理する側面から鈴木さんと意見交換できたことは今後沖縄での環境建築を設計する際の検討事項として貴重な機会となり、研修に参加できなかった若手を含む支部会員と共有を予定しています。

■報告書作成者：安富祖理絵、比嘉俊一、松本幸太郎

JIA 国際交流活動報告写真 1

台中国家歌劇院見学

宮原眼科見学

開務建築訪問レクチャー

開務建築自社ビル見学

台中市建築師公会訪問・意見交換

台中市建築師公会昼食会

SANAA 設計監理・建設中の台中緑美園（美術館図書館）見学・台中市政府　建設局（陳大田　建設局長）と意見交換・レクチャー（施工中の写真は掲載不可）

JIA 国際交流活動報告写真 2

GLA 一周年記念パーティー

百祐オフィス（GLA）見学・レクチャー

高雄芸術センター見学

中都濕地公園ビジターセンターレクチャー

ポップミュージックセンター及び周辺散策

高雄 KMRT 中央公園駅ｴﾝﾄﾗﾝｽ見学

成功大学緑色魔法学校見学・レクチャー

台南市美術館２館見学